

【山口・防府医療圏】具体的対応方針等整理票

資料3-2

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R4.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R4.7.1 ※2	認定・届け出等※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	対応方針の実施状況 (令和5年9月末時点) ※5						
				R4.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	実施状況	備考 (実施予定時期など)		
																		急性	慢性
1	山口・防府	柴田病院	一般 60 回復 60	回復 60 回復 60	地ケア 60							○	・回復期機能を中心。	・機能別病床数は回復期病床60床のまま変更ないが、サブアキュート機能やリハビリ機能の充実を図るため、令和3年10月1日に、地域包括ケア病床を25床から60床に増床した。 ・急性期病院の後方支援、在宅からの入院受入れを行い、在宅復帰をめざして支援を行う地域のみなさまのための病院を目指す。 ・2025年この体制を継続する予定であり、引き続き、地域包括ケアシステムの構築や充実に取り組んでいく。	回復 60	実施済			
2	山口・防府	林病院	一般 50 療養 20 30	急性 50 慢性 20 30	急性 50 慢性 20 30	地ケア 20							○	・最初の入院病棟で積極的に治療を行う。 ・医療(喀痰吸引、人工呼吸等)が必要で家庭に対応できる十分な介護力のない長期療養患者の受け皿。	地域包括ケア病棟に転換済みであるが、サブアキュートを主とする救急告示病院として、引き続き急性期機能を担いつつ、長期療養が必要な患者に対する慢性期機能も維持する。	急性 50 慢性 20 30	実施済		
3	山口・防府	山口赤十字病院	一般 427 427	高度急性 427 155 272	高度急性 377 117 260								○	○	・高度急性期・急性期機能を担う。	・山口市域における公的な基幹病院、地域医療支援病院として、高度急性期・急性期医療、とりわけ小児救急を含む救急医療について、持続的・安定的に提供する役割を担う。 ・脳血管疾患患者への対応、周産期医療及び女性医療、がん診療、高齢化社会に対応した医療機能などの役割を担う。 ・令和4年8月に2025プランを見直し、同年10月に病床を削減したところであり、引き続き、今後の方針に沿って、当院の役割を果たしていく。	高度急性 377 117 260	実施済	
4	山口・防府	佐々木外科病院	一般 54 54	急性 54 54	急性 54 54	地ケア 10 10									・急性期機能と回復期機能を担う。 ・開放型病院(開放病床6床)。	・一次救急医療機関としての体制を維持する。 ・現状のポストアキュートとしての急性期(44床→34床)、それに含まれるサブアキュートとしての開放型病床6床の体制を維持する。 ・令和4年8月1日、高度急性期・急性期病院と在宅をつなぐ回復期(地域包括ケア病床)を10床から20床に変更し、その体制を強化し、在宅復帰を推進、安定化を図る。 ・予防医療の充実化として、特定検診・保健指導の効果的な実施を推進する。	急性回復 54 34 20	実施済	
5	山口・防府	阿知須同仁病院	一般 78 療養 30 48	急性 78 慢性 30 48	急性回復 78 30 48	地ケア 18 18							○	○	・急性期機能と回復期機能を担う。	・地域急性期の一線病院として役割を果たす。 ・基幹病院との前方、後方支援と周辺開業医との連携。 ・在宅及び関連施設との密接な入退院支援。	急性回復 78 30 48	未実施	令和7年7月実施予定
6	山口・防府	小郡第一総合病院	一般 182 182	急性回復 182 137 45	急性回復 182 137 45	地ケア 45 45							○	○	急性期機能と回復期機能を担う。	・山口市南部における中核病院として地域医療、救急医療を持続的に提供していく。 ・整形外科領域では、山口・防府医療圏だけでなく、県内及び県外の広範囲に対し高度な医療を提供していく。	急性回復 182 137 45	実施済	
7	山口・防府	済生会湯田温泉病院	療養 142 142	回復慢性 142 46 96	回復慢性 142 46 96	地ケア 46 46									・療養型病床主体の慢性期医療病院として、急性期病院や地元の開業医との緊密な連携の下、市民の健康管理に積極的に関わっている。 ・病院内に80床の特養を整備し、医療・介護を複合的に提供できる。デイケアや温泉プールを利用した訓練により、患者への質の高いリハビリ提供と同様に、外来や地域の健康福祉増進に寄与している。	・急性期病院や地元の開業医との緊密な連携の下、引き続き後方支援を行っていく。 ・地域包括ケアシステムの拠点として、地域の病院としての役割を明確にしていく。 ・訪問診療や在宅医療推進、訪問看護ステーションとの連携強化を図り、在宅復帰支援に注力していく。	回復慢性 142 46 96	実施済	
8	山口・防府	済生会山口総合病院	一般 310 310	高度急性 310 114 196	高度急性 279 114 165								○	○	・高度急性期・急性期機能を担う。	・救急医療、循環器内科・心臓血管外科等の対応を中心とした高度急性期・急性期医療、がん医療。 ・認知症、精神科の診療体制の充実を図る。 ・なお、新病院建築に伴い、令和4年度中に病床数を310床から279床に変更済みである	高度急性 279 114 165	実施済	
9	山口・防府	山口リハビリテーション病院	療養 180 180	回復慢性 180 124 56	回復慢性 180 124 56	回復リハ 124 124									・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域で不足気味の回復期医療の一翼を担う医療機関として、回復期医療提供体制を維持していく。 ・長期の療養が必要な患者を受け入れる医療機関として、療養医療提供体制を維持していく。	回復慢性 180 124 56	未実施	プラン変更を検討中

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R4.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R4.7.1 ※2	認定・届け出等※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	対応方針の実施状況 (令和5年9月末時点) ※5							
				療養	慢性		急性回復	慢性	地域ケア	地域医療支援	救急医療施設		在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	実施状況	備考 (実施予定時期など)
10	山口・防府	丘病院	療養 37 37	慢性 37 37	慢性 29 29								・慢性期機能を担う。	・療養病床を地域の医療ニーズに適合させ、地域に密着した医療を提供していく。 ・リハビリテーションを通じてご自宅への復帰を支援する一翼を担う。 ・療養病床の再編、介護医療院について検討を行い、令和6年4月に介護療養病床8床を介護医療院に転換予定。	慢性 29 29	未実施	令和6年4月実施予定 (今回、左記下線のとおりにプラン変更)			
11	山口・防府	山口病院	療養 79 79	慢性 79 79	慢性 79 79								・長期入院療養の患者中心。	・急性期病院等から、長期で重症度(人工呼吸器等装着)の患者の受け入れを行う。 ・今後も慢性期の療養病床を維持する。	慢性 79 79	実施済				
12	山口・防府	山口若宮病院	療養 173 173	慢性 173 173	慢性 173 173								・慢性期機能を担う。	・急性期、地域包括ケア病棟、回復期リハの受け皿となる。 ・地域における慢性期として継続する。	慢性 173 173	実施済				
13	山口・防府	阿知須共立病院	一般療養 135 45 90	急性回復 135 45 90	急性回復 135 45 90	地ケア 45 45					○	○	・急性期機能と回復期機能を担う。	・質の高いケアミックス病院として、地域医療機関等との連携を強化し、医療・介護・福祉サービスをシームレスに提供する。 ・地域住民の健康長寿を図るとともに、近隣企業からの要請に応じ、予防医療の強化を図る。	急性回復 135 45 90	実施済				
14	山口・防府	桑陽病院	一般療養 99 57 42	急性慢性 99 57 42	回復慢性 99 57 42	地ケア 8 8							・急性期機能と慢性期機能を担う。	・急性期から回復期への転換について、2025年に向けて緩やかにシフトの予定であるが、2023年度、外科系医師が2名増員予定。それにより、若干提供可能な医療の内容の変更もあると考えられるが、基本的には急性期患者も内包する回復期機能の充実に向けて、一般病棟(現急性期病棟)における地域包括ケア病棟の整備に着手予定。 ・急性期病棟は、二次救急輪番病院としての救急医療の提供及び股関節・脊椎腰椎領域を中心とした整形外科の急性期医療の提供。 ・慢性期病棟は、透析設備を備えた長期入院が可能な病床の提供。	回復慢性 99 57 42	未実施	令和7年10月実施予定			
15	山口・防府	緑町三祐病院	一般療養 86 32 54	急性慢性 86 32 54	回復慢性 86 32 54	地ケア 15 15							・回復期機能、慢性期機能を担う。 ・二次救急輪番病院。	・医療機能を地域の医療ニーズに引き続き適合させつつ、回復機能の充実に取り組みすることとする。 ・機能別病床数を回復期32床、慢性期54床に変更する。	回復慢性 86 32 54	実施済				
16	山口・防府	三田尻病院	一般 128 128	急性回復 128 78 50	急性回復 128 49 79	地ケア 50 50							・地域包括ケアシステムの中心施設となるべく、地域内の急性期の一部、並びに亜急性期の患者に特化した医療を提供する。 ・地域において急性期・回復期医療を担う病院としての役割を担うため、在宅復帰支援強化、地域医療連携の推進、疾病の早期発見と早期予防、災害拠点病院機能強化に取り組む。	・急性期・回復期における多様な診療ニーズへのさらなる対応の充実を図る。 ・災害拠点病院として必要な機能の補完、維持を図る。	急性回復 128 49 79	未実施	令和5年11月実施予定			
17	山口・防府	防府胃腸病院	一般 120 120	急性回復 120 60 60	急性回復 108 60 48	地ケア 60 60							・急性期機能と回復期機能を担う。 ・地域において当院に必要とされる病床機能の再編を検討し、急性期に加え、ポストアキュート・サブアキュートの両機能としての地域包括ケア病床を確保。不足する機能の中からリハビリテーション科を設置。	・輪番での二次救急の受け入れ、消化器領域に特化したがん治療、がん検診含め上部・下部消化器への内視鏡検査等の機能を生かし、引き続き地域の二次救急医療機関として急性期機能を担っていく。 ・訪問診療・訪問看護等を実施しており、今後は地域における在宅医療への貢献も進めていく。 ・なお、令和5年4月1日より回復期を60床から48床に変更した。	急性回復 108 60 48	実施済				
18	山口・防府	防府リハビリテーション病院	療養 261 261	回復慢性 261 46 215	回復慢性 261 46 215	回リハ 46 46							・医療療養・回復期機能を中心	・医療療養・回復期を中心とした医療提供体制の維持 ・専門医療を提供し、地域医療に貢献	回復慢性 261 46 215	実施済				
19	山口・防府	山口博愛病院	一般療養 98 53 45	急性慢性 98 53 45	急性慢性 98 53 45								・急性期機能と慢性期機能を担う。	・地域における、安心して任せられるかかりつけ機能を有する病院を目指している。当院が直接かかわる在宅機能を充実させるとともに急変時(特に夜間・休日)に、受診を受け入れ入院の必要が有る時にはすぐに対応する体制を整えておく。 ・へき地医療(離島・野島)の提供。	急性慢性 98 53 45	実施済				

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R4.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R4.7.1 ※2	認定・届け出等※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4	対応方針の実施状況 (令和5年9月末時点) ※5							
				R4.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		機能別病床数(2025)	実施状況		備考 (実施予定時期など)				
				病院の特徴・役割	今後の方針		実施済	未実施	実施率											
20	山口・防府	山口県立総合医療センター	一般 490 急性 490	高度急性回復 490 急性 275 回復 156 慢性 59	490 275 215	35 35	○	◎				・県立病院として、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、救命救急センター等の指定を受け、他の医療機関では対応が困難な疾病に対する医療を提供するなど、県民の健康と生命を守る基幹病院として、その役割を果たしている。	・県民の医療需要に応え、限られた医療資源の中で適切な保健医療サービスが提供できるよう、二次保健医療圏等における医療機能を考慮した施設の整備・充実、医療機関の役割分担や連携への支援など、効率的な医療提供体制の整備を進める。 ・地域の医療機関との役割分担・機能連携をより一層推進していく。	高度 490 急性 275 回復 215	実施済					
21	山口・防府	松本外科病院	一般 80 急性 80	急性回復 80 慢性 36 慢性 44	80 36 44	44 44		○				・急性期機能と回復期機能を担う。	・5病院での救急輪番病院の一角として、今後も救急車の受入体制を維持していき、現在の急性期病床は、救急輪番病院として適正病床数を検討しながら維持していく。 ・地域における回復期機能の一翼を担う。	急性回復 80 慢性 36 慢性 44	実施済					
病院小計			3,269 一般 2,088 療養 1,181	高度急性回復慢性 3,269 544 1,226 624 875	3,168 506 1,124 719 819	626 回リハ 170 地ケア 456	3	12	5	0	0			高度急性回復慢性 3,168 506 1,104 739 819	実施済	16	未実施	5	実施率	76.2%
22	山口・防府	よしかね循環器内科	一般療養 17 慢性 11 慢性 6	休棟 17 廃止 17	0 0							・慢性期機能を担う。	・地域における慢性期機能の一翼を担う。	廃止 0 慢性 0	実施済					
23	山口・防府	光山医院山口	一般 3 慢性 3	慢性 3 慢性 3	3 3						○	・人工透析治療が中心、透析ベッド数40床。 ・慢性期機能を担う。	・人工透析を必要とされる患者への治療を中心とした医療の提供体制を維持していく。	慢性 3 慢性 3	実施済					
24	山口・防府	医療法人社団青藍会 あんの循環器内科	一般 19 慢性 19	回復 19 回復 19	19 19						○	・循環器を中心とした良質・効果的な全人的医療。 ・総合病院、地域の無床診療所、在宅からの患者をニーズに合わせて入院を受け入れていく。 ・急性期機能と回復期機能を担う。	・高度急性期病院・地域急性期病院との連携による在宅・介護施設への誘導、在宅医療の拠点としての機能。 ・専門的医療(循環器)、在宅患者、緊急時の受入れ、認知症患者の受入れと治療、在宅復帰支援。 ・他法人・グループ内の施設・在宅サービスとの他職種連携による地域包括ケアシステムの実現。	回復 19 回復 19	実施済					
25	山口・防府	医療法人村田外科胃腸科	一般 4 急性 4	急性 4 急性 4	4 4							・急性期機能を担う。	・肛門手術後の管理及び急性期治療のための入院。	急性 4 急性 4	実施済					
26	山口・防府	ながやレディースクリニック	一般 10 急性 10	急性 10 急性 10	10 10							・急性期機能(分娩)を担う。	・急性期機能(分娩)を担う。	急性 10 急性 10	実施済					
27	山口・防府	澤田医院	一般 19 慢性 19	休棟 19 休棟 19	19 19							・休棟中(再開予定)。	・休棟中(再開予定)。	休棟 19 休棟 19	実施済					
28	山口・防府	社会福祉法人青藍会 ハートクリニック南山口	一般 19 慢性 19	回復 19 回復 19	19 19						○	・総合病院、地域の無床診療所、在宅からの患者をニーズに合わせて入院を受け入れていく。 ・回復期機能を担う。	・高度急性期病院・地域急性期病院からの退院患者の在宅・介護施設等への誘導、在宅医療の拠点としての機能。 ・在宅患者、緊急時、終末期医療の受入れ、認知症患者の受入れと治療、在宅復帰支援。 ・他法人・グループ内の施設・在宅サービスとの他職種連携による地域包括ケアシステムの実現。	回復 19 回復 19	実施済					
29	山口・防府	医療法人小林眼科	一般 3 急性 3	急性 3 急性 3	3 3							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 3 急性 3	実施済					
30	山口・防府	かした産婦人科クリニック	一般 19 急性 19	急性 19 急性 19	19 19							・急性期機能(分娩)を担う。	・他の分娩施設との連携	急性 19 急性 19	実施済					
31	山口・防府	林外科医院	一般 19 慢性 19	慢性 19 慢性 19	19 19						○	・慢性期機能を担う。	・引き続き、地域における慢性期機能の一翼を担う。	慢性 19 慢性 19	実施済					
32	山口・防府	医療法人社団大西眼科	一般 10 急性 10	急性 10 急性 10	10 10							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 10 急性 10	実施済					
33	山口・防府	手山産婦人科	一般 10 急性 10	急性 10 急性 10	10 10							・急性期機能(分娩)を担う。	・産科施設の減少にて当施設のできる限りの存続に重点をおく。	急性 10 急性 10	実施済					

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R4.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R4.7.1 ※2	認定・届け出等※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋((プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4			対応方針の実施状況 (令和5年9月末時点) ※5				
				R4.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	実施状況	備考 (実施予定時期など)			
34	山口・防府	山本内科医院	一般 19 療養 19	慢性 19	慢性 19				○	○	・慢性期機能を担う。	・慢性期機能を担う。	慢性 19 19	実施済					
35	山口・防府	医療法人慶和会 防府耳鼻咽喉科 医院	一般 14 療養 14	急性 14	急性 14						・急性期機能を担う。	・地域における急性期治療。	急性 14 14	実施済					
36	山口・防府	光山医院	一般 16 療養 16	慢性 16	慢性 16					○	・透析患者専用の病床。 ・慢性期機能を担う。	・透析診療の提供体制の維持。 ・高齢化の進展に伴う在宅患者訪問診療の充実。	慢性 16 16	実施済					
37	山口・防府	医療法人三鳩会 吉田整形外科	一般 19 療養 19	回復 19	回復 19						・4機能のうち回復期が中心。	・地域における回復機能の一翼を担う。	回復 19 19	実施済					
38	山口・防府	医療法人芳和会 アベ産婦人科ク リニック	一般 14 療養 14	休棟 14	廃止 0						・無床診療所へ移行する。	・無床診療所へ移行する。	廃止 0 0	実施済					
診療所小計			一般 234 療養 228 6	高度急性 234 回復 228 慢性 6	高度急性 184 回復 228 慢性 57		0	0	5	0	6		①必要病床数 ・合計3,008 ・高度 275 ・急性 974 ・回復 899 ・慢性 860	②2025プラン 3,352 506 1,174 796 876	②-① 344 231 200 ▲103 16	高度急性回復慢性 184 0 70 57 57	実施済 17	未実施 0	実施率 100.0%
医療圏合計			一般 2,316 療養 1,187	高度急性 3,503 回復 544 慢性 1,296	高度急性 3,352 回復 506 慢性 1,194	626 回リハ 地ケア 456	3	12	10	0	6		高度急性回復慢性 3,352 506 1,174 796 876	実施済 33	未実施 5	実施率 86.8%			

※1:令和4年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、

【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療:令和4年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和5年7月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。なお、今回、変更を協議する場合は、変更内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:対応方針の実施状況は令和4年度病床機能報告等で確認して記載し、未実施の場合は実施予定時期を記載。例:令和6年9月頃。また、有床診療所で2025プランの機能別病床数が休棟又は廃止の場合については、実施済に区分している。